

第 11 回 古見文一さん (神戸大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第 11 回目は、古見文一さん (神戸大学) にご執筆いただきました。

「博士論文・日心の小講演から自分の発達を探る」

私の専門は発達心理学です。定期的に幼稚園に通って子どもたちの自由時間を観察させてもらっていると、「いつの間にそんなに成長したんだろう？」ということがよくあります。そして「この発達をどう研究に落とし込めるだろう？」と考えるところに発達心理学のおもしろさを感じる今日この頃です。

それでは、私たち大人はどうでしょうか？大人は発達の完成形と考えられることもありますが、私の研究では「他者の心を読む」能力は大人でもまだ発達の余地があることがわかっています。昨年、そんな研究を続けてきた 5 年間の大学院生活の集大成として博士論文を書いている時によく思ったのが「昔の僕はあほか！」です。データの整理も文章もダメすぎる…見返しても解読するのに時間がかかる…

そして今、博士論文をまとめた今年の小講演の準備をしているのですが、同じことを思いました「昔の僕は何をしとんねん！」もっときれいにスライド作っとけば使いませたのに…そんな感じで小講演の準備をしています。

9/22(火) 11:40~12:40@第 5 会場/1 号館 131+132

「ロールプレイがマインドリーディングに及ぼす効果の発達心理学的検討」

お時間とご興味のある方はぜひお越しください。よろしく申し上げます。

古見文一 (Fumikazu FURUMI) さん

【ご所属】 日本学術振興会/神戸大学大学院人間発達環境学研究科

【ご連絡先】 fumikazu.furumi@gmail.com

【ホームページ】 <https://sites.google.com/site/fumikazufurumihomepage/>

【その他】 11 月からしばらくロンドンで研究する予定です。院生時代も何度もイギリスに研究しに行きました。研究の興味が近い方、海外での研究に興味がある方とつながっていただけると幸いです！